



対応順位優先度と処置方針

順位	問題の種類	処置方針	備考
1	健全性問題あり (通行人に影響あり)	早急に剪定を行う。欠陥次第では伐採も検討する。	樹木のもつ欠陥（衰弱、腐朽、亀裂等）が原因となり、倒木や落枝等、人的被害を及ぼす可能性が高い樹木。
2	古樹・記念樹	原則伐採はしない。樹木健全性に問題があり対応が必要な場合は剪定・保全を行う。	文献や古写真で確認できる歴史的価値が大きい樹木や大径木。寄贈等の記念的歴史がある樹木。
3	文化財に影響	伐採を含めた処置を検討する。	歴史的価値のある建造物・石垣等に破損等を及ぼす影響のある樹木。
4	眺望阻害	原則剪定を行う。	景観を阻害し、観光上の課題となる樹木。人的被害の可能性は低いもの。枝が密集している樹木も含む。
5	健全性問題あり (通行人に影響なし)	欠陥の状況により伐採し剪定等を行う。	樹木のもつ欠陥（衰弱、腐朽、亀裂等）が原因となり、倒木や落枝等が課題となる樹木。人的被害の可能性は低いもの。